

## 令和3年度 研究推進計画

### (1) 研究主題

#### <研究主題>

### 児童が主体的に学ぶ授業の創造 ～児童の「学ぶ意欲」を育てる指導の工夫を通して～

### (2) 主題設定の理由

本校は、昨年度まで、八次型授業モデルを活用した児童生徒の資質・能力向上のための算数科を中心とした授業研究を柱として、研究を進めてきた。「数学的な見方・考え方」を児童から引き出し、価値付け、成長させていくための授業づくり、児童の「見方・考え方」を育てるための家庭学習の工夫について、取り組んできた。

#### 【令和2年度 三次市学力到達度検査の結果から】

##### これまでの取組の成果

##### ≪国語科≫

- ・漢字の読み書きなど基礎的な学力は概ね定着している。
- ・記述してあることの読み取りなど、内容の把握は概ねできている。
- ・「分からない言葉が出てきたら、調べている」児童の割合は中学年では目標値を上回っている。

##### ≪算数科≫

- ・基本的な四則計算など、機械的に計算する力は定着している。
- ・既習事項を用いて解こうとする意識は向上している。

##### 課題

##### ≪国語科≫

- ・資料と自分の考えを関連付けて述べる力
- ・意識調査において「分からない言葉が出てきたら、調べること」「自分の思いや考えを話すこと」についての肯定的回答が低い。

##### ≪算数科≫

- ・学年が上がるにつれ、複雑な計算や扱う数字が大きくなったり、文章問題が複雑になったりすると、繰り上がりのミスや演算決定の誤りなど誤答が増える傾向がある。
- ・授業で扱う時間が少ない図形や概数など日常的にあまりふれない単元の理解に課題がある。
- ・「いろいろな考えを交流し合うこと」や「なぜ、解けなかったか考えること」について否定的な回答をする児童がどの学年も多い傾向がある。

#### 【課題まとめ】

- ・初見の文章の読解に課題がある。
- ・高学年は、「分からないことを知りたい」という思いが低下している。
- ・考え方を交流し、多様な考え方にふれることに魅力を感じておらず、結果（正答）ばかりを求めている児童が多いと分析する。
- ・自分の考えを表現することが苦手な児童が多い。
- ・考えを表現するための手立てが不十分である。

以上の結果及び分析をふまえ、学校教育目標達成のためには、児童の「学ぶ意欲」を育成する授業づくりを追究していく必要があると考え、本研究主題を設定する。

### (3) 研究仮説

各教科において、児童が「やってみたい」と思えるような授業づくりを行うことにより、「できた」「わかった」を積み重ねていけば、児童が主体的に学ぶようになるだろう。

### (4) 研究内容

研究の中心には、児童の「学習に対する主体的な意識・探究の意識の向上」を据え、児童の「学ぶ意欲」を育てる授業の在り方について研究する。

#### 【研究を通して明らかにしていくこと】

- これまでの自分の授業を振り返り、課題を明らかにする。
- 課題解決のために、「学ぶ意欲」を育てるための工夫を考える。
- 児童の「学ぶ意欲」が高まった姿を具体的に明らかにする。
- 児童が主体的に学ぶために、指導方法を工夫し、実践する。  
(導入の工夫、展開の工夫、発問・切り返しの工夫、かかわり合い)
- 指導方法を工夫することによって、児童の「学ぶ意欲」が高まったかを検証する。  
(4・7・11月アンケート実施・三次市学力到達度検査意識調査)
- 取組の成果と課題、改善策をまとめる。

#### 《取組》

・児童の「学ぶ意欲」を育成するような授業づくり、指導方法の工夫について研究する。

- ① 自分の授業を振り返る。(課題設定)
- ② 教科・単元を設定し、児童の「学ぶ意欲」を育てるための工夫を考える。  
(情報収集・整理、分析)
- ③ 実践交流を行う。(学年間、低・中・高学年ブロックなど)
- ④ アンケートを実施し、授業づくりの成果や課題を見つけ、授業づくりに生かす。  
(まとめ・表現・振り返り)

生活学習アンケート 八次小学校 項目	
や っ て み たい	学ぶことは好きですか。
伝 え たい	自分の思っていることや考えていることをまわりの人に話しますか。
	みんなでいろいろな考え方を発表しあうことは好きですか。
も っ と 知 り た い	分からないことや言葉が出てきたら、自分で調べますか。
	興味や関心をもったことは自分で調べてみますか。
	新聞を読んだり、ニュースを見たりして、世の中の出来事に関心をもっていますか。
	問題が解けなかったとき、なぜ解けなかったかと考えていますか。

【関連した取組】


- ① よむYOMUシート（読解カシート）（週1回程度）
- ② 八次小短歌（月1回）→コンクールへの参加
- ③ ICT活用研修（月に1回程度）

（5）検証の視点と方法

検証項目	検証方法	検証指標	検証時期
① 意識の向上	・意識調査等の分析	・意識調査における関連項目の肯定的回答率を向上させる。（令和2年度比較）	① 4月 ② 7月 ③ 11月 ④ 三次市学力到達度検査（1月）
② 学力の向上	・学力調査等の分析	・三次市学力到達度検査の通過率全国平均以上を全学年が達成する。	三次市学力到達度検査（1月）

※ 学習意識調査（4月・7月・11月）シート別紙参照

(6) 研究計画

一学期	4月	研究主題・研究推進の提示 ・課題設定(授業振り返り)⇒改善方針 ・めざす姿の共有 学習意識調査 実施①	・各月研究部会にて, 取組の定期的な交流
	5月		
	6月	授業研究	
	7月	学習意識調査 実施②	
夏季休業中	8月	実践の検証 ・実践の成果・課題の明確化 ・2学期の方向性の確認 ・学習環境整備 ・研究会指導案作成 公開授業シミュレーション	
二学期	10月	授業研究	
	11月	研究公開(各学年1クラス公開授業) 学習意識調査 実施③	
	12月	研究会振り返り	
三学期	1月	三次市学力到達度検査 授業研究	
	2月	三次市学力到達度検査結果分析	
	3月	実践の検証 ・研究のまとめ ・実践の成果・課題の分析及び, 児童の実態把握 ・次年度への研究の方向性	